

警察活動について

(令和6年度)

【調査の目的】

福岡県警では、「県民の安全・安心の確保」を運営の指針とし、県民の皆さんからの御理解と御協力を得ながら、地域との協働による犯罪・事故の起きにくい社会づくりに向けた警察活動を展開しています。

そこで、警察活動について皆さんの御意見をお聴かせいただき、今後の参考にさせていただきます。

【活動状況】

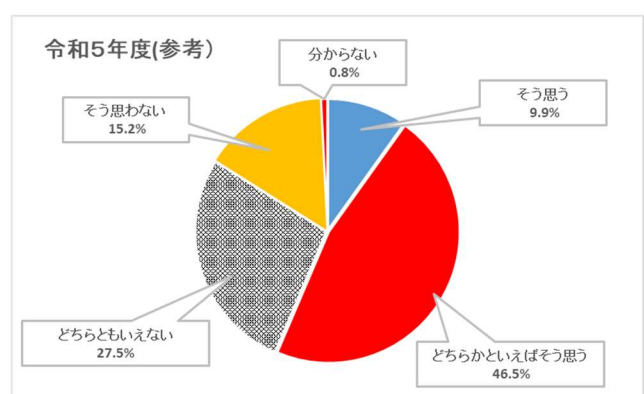
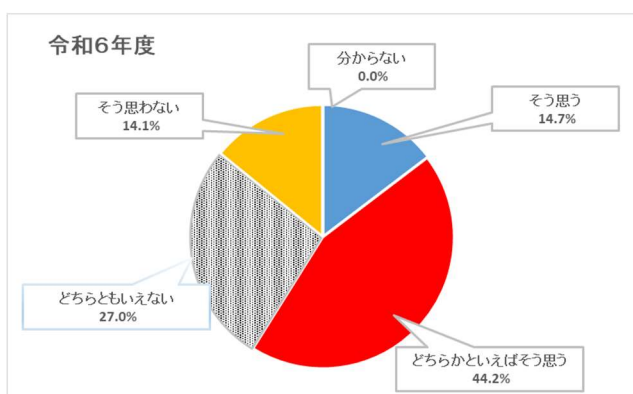
治安に関する県民の意識及びその変化を把握し、今後の各種警察活動に反映します。

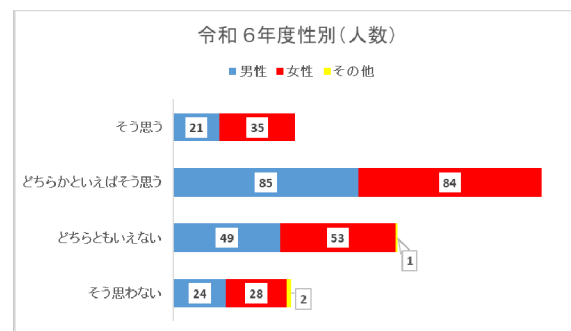
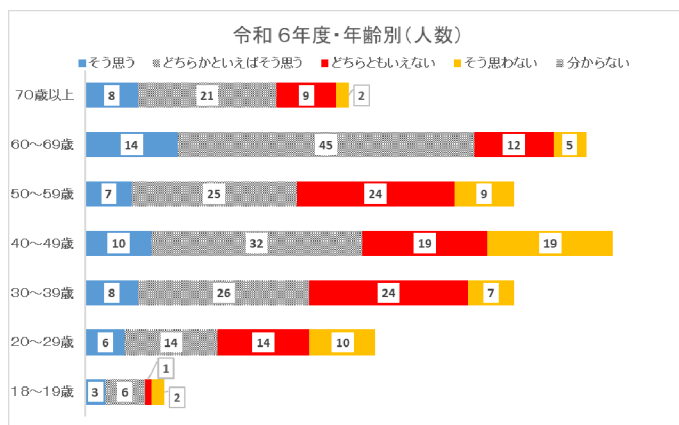
(警察本部 総務部 被害者支援・相談課)

〈1〉 あなたは、現在の福岡県が、治安がよく、安全で安心して暮らせる県だと思いますか。

(n = 382 選択は1つのみ)

そう思う	14.7%	(56 名)
どちらかといえばそう思う	44.2%	(169 名)
どちらともいえない	27.0%	(103 名)
そう思わない	14.1%	(54 名)
分からない	0.0%	(0 名)
無回答	0.0%	(0 名)





〈2〉 〈1〉で「そう思わない」と選択された方にお尋ねします。

あなたが、福岡県の治安がよく、安全で安心して暮らせる県だと思わない理由は何ですか。

(「そう思わない」と選択された方 n = 54 選択は3つまで 回答件数 = 134)

悪質・危険な交通違反や、爆音走行などの暴走行為を見かけるから	22.4%	(30 名)
暴力団等による凶悪事件などが発生しているから	16.4%	(22 名)
自分や身近な人が犯罪被害や交通事故に遭ったり、身近な場所でそれらが発生しているから	14.9%	(20 名)
パトカーが集まっているのを見かけたり、パトカーのサイレン音が聞こえるから	13.4%	(18 名)
深夜、公共の場所(公園やコンビニエンスストアを含む)で騒いでいる人たちを見かけるから	12.7%	(17 名)
自転車の運転マナーが悪い人を見かけるから	9.7%	(13 名)
不審な人や乱暴な言動をする人を見かけるから	7.5%	(10 名)
その他	3.0%	(4 名)

無回答 0.0% (0 名)

〔その他(抜粋)〕

- ・ 性犯罪の発生件数が多いから
- ・ 頻繁に不審なメールがくるから
- ・ 全国ニュースになる犯罪の発生地や犯人の出身地等が福岡県だと報道されることが多いから
- ・ 警察の不祥事が多くなったから

〈3〉 あなたが、警察に特に力を入れて取り締まってほしい犯罪は何ですか。

(n = 382 選択は4つまで 回答件数 = 1390)

飲酒運転	14.5%	(202 名)
電話やSNS等を通じてお金をだまし取る「ニセ電話詐欺」や「SNS型投資・ロマンス詐欺」	10.7%	(149 名)
殺人、強盗、放火、誘拐などの凶悪犯罪	8.9%	(124 名)
爆音走行などの暴走行為	8.1%	(113 名)
ストーカー、DV、児童・高齢者虐待・障がい者虐待に関する犯罪	8.1%	(113 名)
暴力団による犯罪	7.8%	(108 名)
空き巣、ひったくり、車上ねらい、自転車盗などの窃盗犯罪	7.6%	(105 名)
サイバー犯罪（フィッシング、不正アクセス、コンピュータウイルス等インターネットを利用した犯罪）	6.3%	(87 名)
不同意性交等（強制性交等）、不同意わいせつ（強制わいせつ）、痴漢、盗撮などの性犯罪	6.1%	(85 名)
自転車や小型の電動モビリティの違法行為	5.5%	(76 名)
ごみの不法投棄など、人の健康または生活環境に関する犯罪	4.0%	(56 名)
汚職など公務員による犯罪	3.2%	(45 名)
少年の非行	2.6%	(36 名)
拳銃発砲などの銃器犯罪や、覚醒剤・大麻の密売などの薬物犯罪	2.3%	(32 名)
悪質な訪問販売などの商取引に関する犯罪	1.9%	(26 名)
違法な性風俗営業等による、青少年の健全育成などを害する犯罪	0.9%	(13 名)
高金利貸付けや脅迫的な取立てをするヤミ金融犯罪	0.6%	(9 名)
その他	0.8%	(11 名)
無回答	0.0%	(0 名)

〔その他（抜粋）〕

- ・ 喫煙や拡声器による騒音等の迷惑行為（類似意見2件）
- ・ 高齢化社会に即した交通取締り
- ・ 不法滞在等の犯罪
- ・ 警察内部の犯罪（類似意見1件）

〈４〉 あなたは、犯罪の取締り以外に、警察が今後、特に力を入れるべき活動として、どのようなものを望みますか。

(n = 382 選択は4つまで 回答件数 = 1298)

パトカーや制服警察官によるパトロール	14.8%	(192 名)
飲酒運転を許さない社会環境づくりの推進	12.7%	(165 名)
高齢者や子ども等の交通事故の抑止	9.4%	(122 名)
相談、苦情、要望・意見を受ける窓口の充実	8.2%	(107 名)
地域で発生する身近な犯罪などの情報提供	7.8%	(101 名)
自転車や電動モビリティの交通ルール遵守	7.2%	(94 名)
暴力団排除運動の支援や暴力団犯罪の被害に遭うおそれのある企業・県民等の保護	5.7%	(74 名)
少年非行・被害防止	4.9%	(64 名)
サイバー空間におけるパトロール	4.3%	(56 名)
学校や地域などの社会教育の場での防犯指導	4.0%	(52 名)
住民によるパトロールや自主的な防犯活動をしている団体への支援	3.9%	(51 名)
災害発生時の被災者の救出救助や行方不明者の捜索、避難誘導、警戒活動	3.3%	(43 名)
サイバー犯罪に関する情報提供	3.0%	(39 名)
交通に関する反則（違反）金のキャッシュレス決済の導入	3.0%	(39 名)
自治体・地域住民等と連携した繁華街・歓楽街の環境浄化	2.8%	(36 名)
犯罪被害者に対する支援の充実	2.5%	(33 名)
テロの未然防止と的確な対処	1.2%	(16 名)
その他	1.1%	(14 名)
無回答	0.0%	(0 名)

〔その他（抜粋）〕

- ・ 犯罪捜査等に専念するため一部の業務は民間企業に委託（類似意見 1 件）
- ・ 交通事故未然防止や渋滞緩和に向けた環境整備の充実
- ・ 国際化社会に即した事案への強化
- ・ 各種申請・手続きのオンライン化の導入
- ・ 警察官の人材確保
- ・ 警察組織の職業倫理の徹底（類似意見 2 件）

〈5〉 警察の相談電話の利用についてお尋ねします。

あなたはこれまでに事件・事故、その他の困りごとについて警察に電話で相談した際、どこに相談をしましたか。

(n = 382 選択は1つのみ)

1 警察署に電話で相談をした	25.4%	(97 名)
2 警察本部の代表電話番号、警察相談専用電話（# 9 1 1 0 警察本部相談コーナー）に電話で相談をした	1.3%	(5 名)
3 上記 1 と 2 の両方に電話で相談をした	1.6%	(6 名)
4 警察に電話で相談をしたことはあるが、どこに相談をしたか覚えていない	5.8%	(22 名)
5 電話で相談をしたことはない	64.7%	(247 名)
6 その他	1.3%	(5 名)
無回答	0.0%	(0 名)

〔その他（抜粋）〕

- ・ 直接、交番等に相談した 3 件
- ・ 110 番に相談をした 2 件

〈6〉 今後、警察に電話で相談をする場合は、どこに電話をしますか。

(n = 382 複数選択回答可 回答件数 = 439)

警察署に電話で相談をする	62.9%	(276 名)
警察本部の代表電話番号、警察相談専用電話（# 9 1 1 0 警察本部相談コーナー）に電話で相談をする	32.8%	(144 名)
その他	4.3%	(19 名)
無回答	0.0%	(0 名)

〔その他（抜粋）〕

- ・ 交番に電話をする 6 件
- ・ 警察署や交番に出向いて相談する 5 件
- ・ 110 番にする 3 件
- ・ 相談内容によって使い分けて警察本部や交番に電話する

〈7〉 警察活動について、これまでの設問以外に意見がありますか。

〔回答内容（抜粋）〕

- ・ 犯罪の未然防止に向けた環境整備の推進（類似意見 10 件）
- ・ 交通違反や交通事故の未然防止に向けた環境整備の推進（類似意見 10 件）
- ・ 市民応接の教養の徹底（類似意見 9 件）
- ・ 警察組織内の自浄機能の強化（類似意見 9 件）
- ・ 防犯情報や相談窓口に関する情報発信の強化（類似意見 6 件）
- ・ 外国人との共生社会の現実に向けた課題への対応（類似意見 4 件）